

アロマ・キャンドルの作りかた

持物（キャンドル1個分）

・廃油（はいゆ）	約100ml	・油こし紙	1枚	・割りばし	1膳
・空びん	1個	・凝固剤（ぎょうこざい）	約6g	・タコ糸	約10cm
・空アルミ缶	1個	・クレヨン	約0.5g		
・ペットボトル	1本	・アロマオイル	約5～10ml		

工程（こうてい）

1. びんの高さを測ります
2. 廃油をろ過します
3. 凝固剤とクレヨンを廃油に混ぜます
4. 廃油を温めます
5. キャンドルの芯を作ります
6. アロマオイルを混ぜます
7. キャンドルの芯をさします
8. 固まったキャンドルの芯の長さを調整します
9. アルミ缶で飾りを作ります
10. 完成

1. 空びんの高さを測ります

空びんの高さを測ります。びんの高さはキャンドルの芯と飾りの高さに影響（えいきょう）します。



2. 廃油をろ過します

ペットボトルの上部分の約1/3を切ったものをひっくり返し、空びんの上に重ねます。さらに、その上に油こし紙を敷き、廃油を流しこみろ過します。



3. 凝固剤とクレヨンを廃油に混ぜます

廃油約100mlに、凝固剤約6g、クレヨン約0.5gを混ぜます。

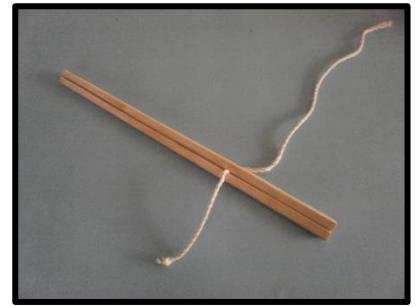
4. 廃油を温めます

廃油入りのびんを湯煎（ゆせん）し、約80℃になるまでかき混ぜます。約80℃まで温度が上がらないと凝固剤がとけません。（ご家庭で作る場合は※のやり方がより効率的（こうりつてき）です。）

※びんに約80度の廃油、凝固剤とクレヨンをいっしょに入れることで、3. 4. の工程をいっしょに行うことができます。

5. キャンドルの芯を作ります

キャンドルの芯（しん）の材料となるタコ糸の先っぽを玉結びします。次に、タコ糸を約10cmに切ります。その後、芯になるところ（1. で測ったびんの高さと同じ長さ）を油につけます。油が十分に染みこんだら引きあげ、ポタポタ垂れる油をふきとります。最後に、タコ糸を割っていない割りばしの真ん中に挟みます。



6. アロマオイルを混ぜます

4. で温めたびんを湯煎（ゆせん）から取り出します。びんの中の廃油が60℃まで下がったら、適量（てきりょう）のアロマオイル（約5～10ml程度）を混ぜ、よくかき混ぜます。

7. キャンドルの芯をさします。

びんの上からキャンドルの芯をさします。

（このとき、割りばしより下になるタコ糸の長さをびんの高さより短くしておかないと、びん底にタコ糸が触れてまっすぐささらず、芯がたるんでしまいます）



8. 固まったキャンドルの芯の長さを調整します

凝固剤を混ぜた廃油は約40～50分で固まりキャンドルになります。キャンドルの芯を優しく引っ張り、約1cm残して切ります。（強く引っ張ると芯が抜ける恐れがあります）



9. アルミ缶で飾りを作ります

アルミ缶の上部分を切り、1. で測ったびんの高さより約2cm長く残します。その後、ペンチなどでギザギザになっている切断面（せつだんめん）を約1cm内側に折りたたみ危なくないようにします。この時、素手（すで）で折りたたむと危ないです。最後に、アルミ缶の表面に画鋲（がびょう）などで穴を開けます。



※9. の工程は、当日の進行都合上、一部7. と8. の行程の間に行います。

10. 完成

9. で作った飾りにキャンドルを入れ点火し、完成です。

